

十勝農業の今を知り 未来を読み解く



十勝から過去最多の14頭が出た和牛全共の宮城大会(2017年)。今年10月の鹿児島大会に向けて生産者は準備を進めている



コロナ禍でも取引堅調、 10月に「和牛全共」

肉用牛は昨年、コロナ禍にあっても枝肉や素牛の取引価格は堅調に推移した。訪日外国人旅行者（インバウンド）需要の喪失などで外食向けが落ち込む中、家庭での「巣ごもり需要」

やネット販売、ギフト利用が支えた。枝肉相場の動きに伴い肥育牛の出荷も進んで、十勝が主産地の素牛も引き合いがあった。
今年も初競りから同様の傾向が



コロナ禍でも和牛素牛の堅調な取引引きが続く十勝家畜市場

続き、肉用素牛の黒毛和種と乳用交雑は去勢、雌ともに前年同月の平均価格を下回ったものの、昨年12月と同水準となった。しかし、1月以降は道内をはじめ全国各地でコロナ感染の第6波が猛威を振るった。対策となるまん延防止等重点措置で、再び飲食店が営業自粛となり、本格的な回復の道のりは不透明になっている。

と畜して肉質や肉量を競う「肉牛の部」の2つの部に分かれて行われる。前回の宮城大会には、管内から過去最多の14頭（種牛9頭、肉牛5頭）が参加。最高位は5位で前回より一つ順位を上げたが、目標とした3位以内には届かず、九州勢の壁の厚さを肌で感じた。

その後も管内では、十勝和牛振興協議会が中心になって、良質な牛づくりに力を入れている。和牛全共は2027年に北海道で初開催されることも見据え、十勝独自の種雄牛づくりなどに取り組む十勝和牛育種組合も発足した。北海道、十勝は酪農が中心で和牛飼育の歴史は浅いが、全共は和牛生産を全国にアピールする機会。道代表を決める選考会は8月に音更町内で開かれる。

TOA BIOPHARMA CO., LTD.

気になったら“お口にポン。”
生菌入り混合飼料 初のタブレット製品

ビオスリーエース
タブレット 70粒

1粒にビオスリーエース 30g分の3菌を含有

【タブレットおすすめ給与ポイント】
・生まれたばかりの子牛や親付け子牛に
・哺乳期子牛の健康維持や免疫力の維持に

生菌入り混合飼料

A 飼料

ビオスリーエース

乳牛：乳質改善、泌乳量増加に
肉牛：増体、肉質向上に



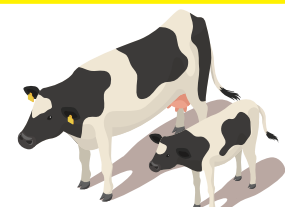
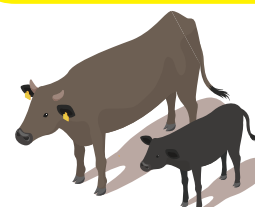
■消化機能障害治療剤

動物用医薬品

ビオペア

良好な消化機能を保ち、健康な家畜をつくり、
疾病のない畜産経営を。

【効能・効果】
消化器疾患、消化器衰弱、食欲不振
食欲不振における症状改善
消化不良、単純性下痢



“健康の源は腸にあり” **東亜薬品工業株式会社**



〒151-0073 東京都渋谷区笹塚2-1-11
☎ 03-3375-0511 <http://www.toabio.co.jp>